



令和5年度

## 太田小だより 12月号

## 【学校教育目標】

「自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成」  
 ～やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小～  
 ○思いやりのある子 ○すすんで学ぶ子 ○たくましい子

さいたま市立太田小学校  
 令和5年11月24日（金）発行  
 全校児童数573人



住所 さいたま市岩槻区仲町1-17-3  
 電話 048-756-0515  
 FAX 048-758-7487  
 メール ota-e@saitama-city.ed.jp  
 Web https://ota-e.saitama-city.ed.jp



## 本には多くの宝が眠っている

校長 田波 巨士

秋の終わりを迎え、朝夕の冷え込みがますます強まる頃となりました。11月に入り、本校ではインフルエンザでの欠席が増え始め、1年生の2学級と2年生の1学級で学級閉鎖の措置を講じることとなりました。そのため、1年生と2年生の遠足が延期となり、保護者の皆様には大変御心配をおかけいたしました。両学年の遠足につきましては、年内中に実施する予定です。

先月のお話になりますが、10/24（火）～26（木）で、5年生がたかつえ自然の教室に行ってきました。子どもたちは自然豊かな会津の地で、ここでしか経験できないような、様々な活動を行ってきました。グレンデトレッキングやキャンプファイヤー、川魚さばき、焼き板づくりなど、幅広い体験を通して、多くのことを学ぶことができました。太田小学校に戻って来てからの子どもたちは、少し自信がついたような、大人になったような頼もしい顔つきになっていました。今回の経験を今後の学校生活に生かし、さらに頼もしい高学年になってくれることを期待しています。



さて、11月の生活目標は、「よい本をたくさん読もう」でした。太田小学校では、10/30（月）～11/22（水）に「図書館まつり」と称し、子どもたちに、多くの本に親しんでもらうためのキャンペーンを行いました。「図書館まつり」の取組として、全学年で①自分のおすすめ本の紹介、図書委員会を中心として、②1～4年生に紙芝居の読み聞かせ、③図書館クイズ（正解するともう1冊借りられる券がもらえます）、④図書館くじ（借りた本に当たりの紙が入っていたらしおりとお守りがもらえます）などを行いました。また、他にも⑤教職員のおすすめ本の紹介、⑥図書ボランティアの皆様による読み聞かせを行いました。これらの取組によって、子どもたちが図書館に足を運ぶ機会が増え、休み時間等に読書をしている姿が多く見られるようになりました。



文部科学省のHPには、「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。」と記されています。子どもは本を読む

ことで、新たな言葉や表現を学んだり、未知の世界に触れたり、情景をイメージしたり、知らないうちに様々な力を身につけています。それは、何も勉強だけに役立つ知識ではありません。物語の登場人物に感情移入し、嬉しさや悲しさを自分事のように感じることで「感性」が、文章を読んで場面をイメージすることで「想像力」が磨かれます。感性を磨けば、小さなことでも幸せを感じられる心が育ちます。想像力を磨けば、相手を思いやれる心が育ちます。

「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして何よりも宝を毎日味わうことができる。」これは、ウォルト・ディズニーの言葉だそうです。確かに、本の中には、自分の心に響く言葉、魅力的な登場人物、創造的な新しい世界、パッと目を惹く扉絵や挿絵など、自分が「これは！」と感じる宝がたくさん見つかりそうです。

難しいことは抜きにして、読書は楽しいものです。自分のお気に入りの本を何度も繰り返し読むのもよし、好きな作家・物語のシリーズを読み続けるのもよし、好みの扉絵・挿絵の本を選ぶのもよしです。ちなみに私は、ハッピーエンドで終わらない小説等を好んで読みます。フィクションですから、バッドエンドもたまにはいいかなと読後のモヤモヤ感を楽しんでいます。本の選び方、読み方には正解がありません。自分なりのやり方で様々な本に接して読書を楽しみましょう！